

デジタル教科書を活用した 土木学習の実践

～社会科5年生「自然災害の防止」
単元の学習を通して～

埼玉県越谷市立弥栄小学校 長谷川 裕晃

はじめに

ICT機器やデジタル教材等の活用

各都道府県、市町村の重点施策

各学校では

- ・教育課程への意図的な位置づけ
- ・授業実践を推進

ICT機器やデジタル教材を活用した授業



話題になる

成果は？課題は？

ICT機器やデジタル教材のよさ

① 動画をすぐ見られる

② 写真をすぐ拡大できる

③ 大きく映し出すことができる

④ 画面を加工することができる

ICT機器やデジタル教材の課題

① 座席の配慮

② 座席隊形の工夫

③ 準備

土木とは

市民の文明的な暮らしのために
人間らしい環境を整えていく仕事

普通の暮らしのために

道

緑

川

土木の仕事

5年生 自然災害を防ぐ

1 時間目

我が国で近年起こった自然災害を知り、被害の防止について関心を高め、学習問題をつくる。

宮崎県日之影町で起こった土砂災害です。前は建物があつたのに、土砂がくずれてなくなつてしまいました。



去年の東日本大震災の津波です。気仙沼市はものすごい被害でした。まだ復興があまり進んでいないそうです。



学習問題

わたしたちの国では、自然災害をどのように防いでいるのだろうか。

2、3時間目

自然災害の被害を防ぐための国や都道府県、市町村などの対策や事業を調べ、発表し、第Ⅱ学習問題を見いだす。

事例：和歌山県の取り組み

和歌山県串本町では、**法律に基づいて防災計画**をつくっています。**防災マップ**をつくって、**避難場所の確認**などをしていることがわかりました。「**ゆれたら逃げる**」が合言葉なのだそうです。



災害の時は65歳以上の1人暮らしの人などを地域で助け合って支援するよう
していくそうです。自主的に防災訓練もして
いるそうです。



- ・避難場所や経路を確認する
- ・防災グッズを備える
- ・避難訓練
- ・逃げる意識を高める

自助

公助

- ・法律
- ・防災計画
- ・防災マップ
- ・堤防
- ・避難場所を整備
- ・避難訓練を実施
など

共助

- ・地域で助け合って支援
- ・自主的に防災活動をする
- ・災害時の助け合い

東日本大震災 宮城県仙台市・名取市













佐藤善雄



第Ⅱ 学習問題

自然災害から身を守るため、わたしたちは何ができるのでしょうか。

4時間目

自然災害から身を守るために、わたしたちは何ができるか、考え、話し合う。

学校で一生懸命避難訓練をする。

避難場所を決めておくなど、たまには家族できちんと話をする。

防災グッズを買って準備しておく。

近所の人とも助け合う約束をしておく。

成果と課題

成果

デジタル教科書を使って学習内容を共有できたため、学習意欲の温度差が小さい状態で学習を進めることができた。

デジタル教科書などを使い、具体的に事例についてとらえ、考えることができたため、学習を自分事として進めていた子どもが多かった。

課題

より効果的な教材の提示や発問の仕方。

ご静聴ありがとうございました。